

# 小泊の海を守り続けて115年

— 水産多面的機能発揮対策 —

◆中泊町沿岸訓練実施隊

◆小泊海の監視ネットワーク活動組織

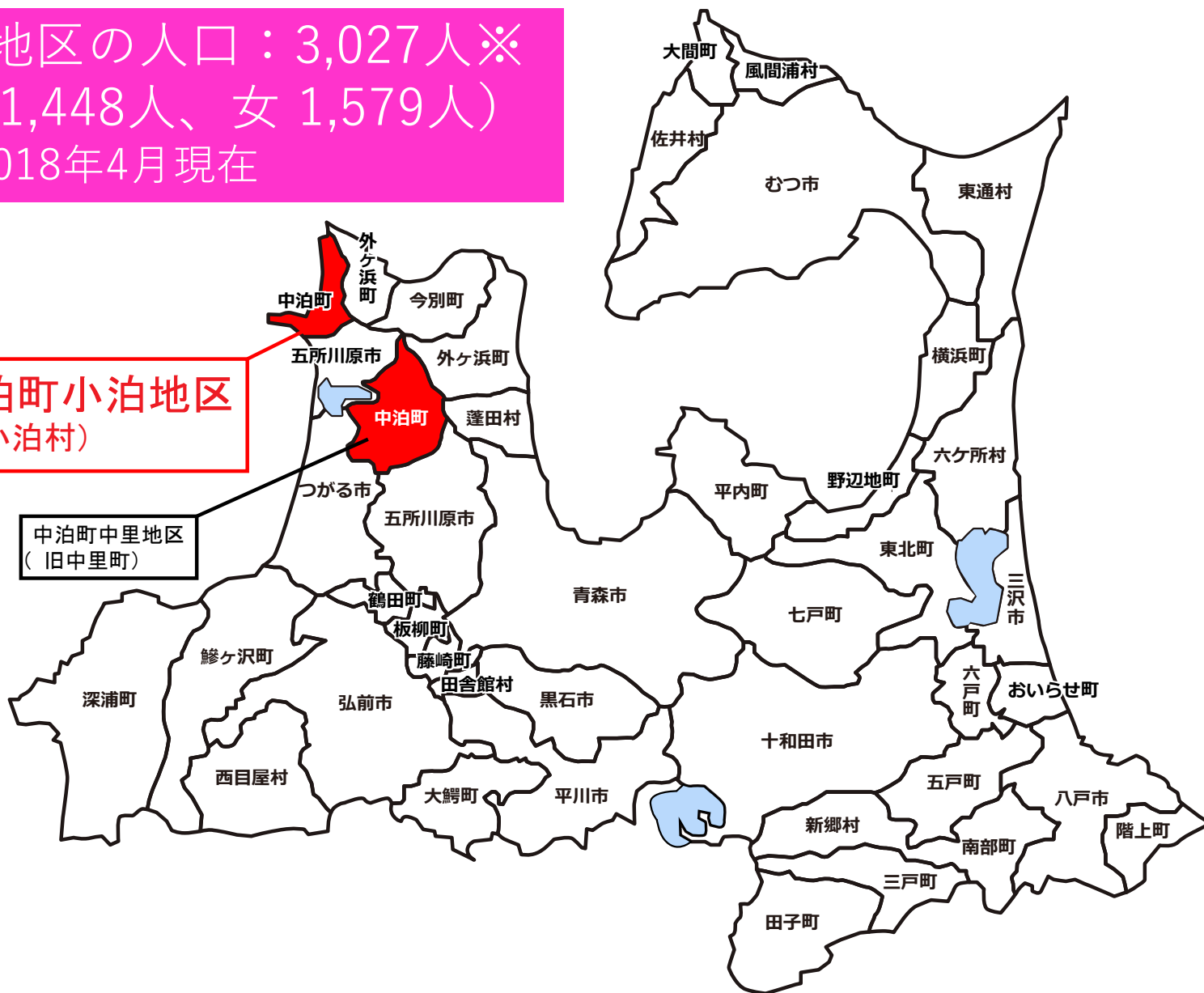
成田 直人（小泊漁協代表理事組合長）

# 1. 地域や漁業の概要

小泊地区の人口：3,027人※  
(男 1,448人、女 1,579人)  
※2018年4月現在

中泊町小泊地区  
(旧小泊村)

中泊町中里地区  
(旧中里町)



権現崎



燕の崎  
燕の滝

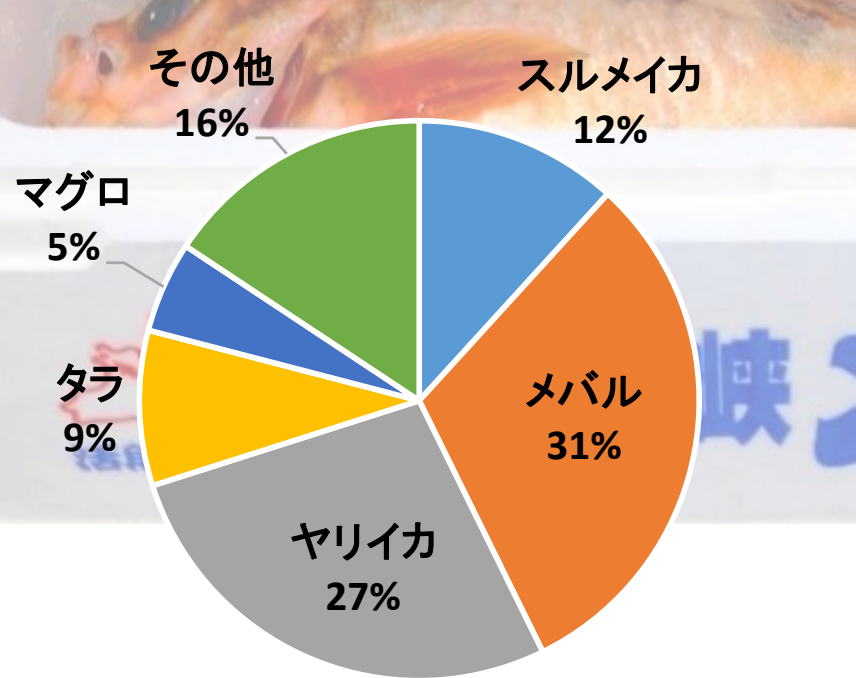


七ツ滝

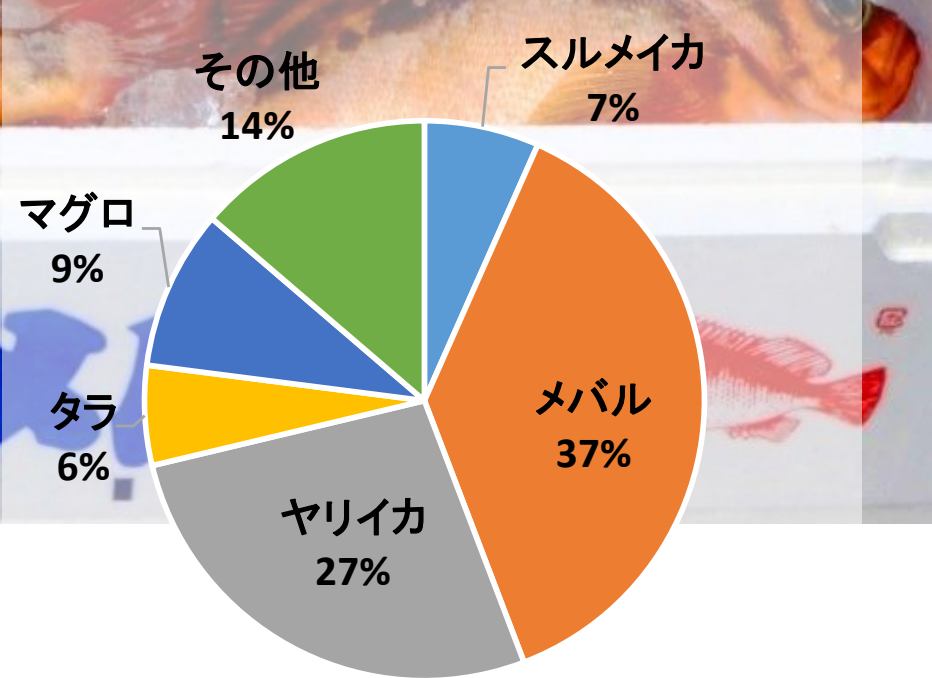


大間海岸



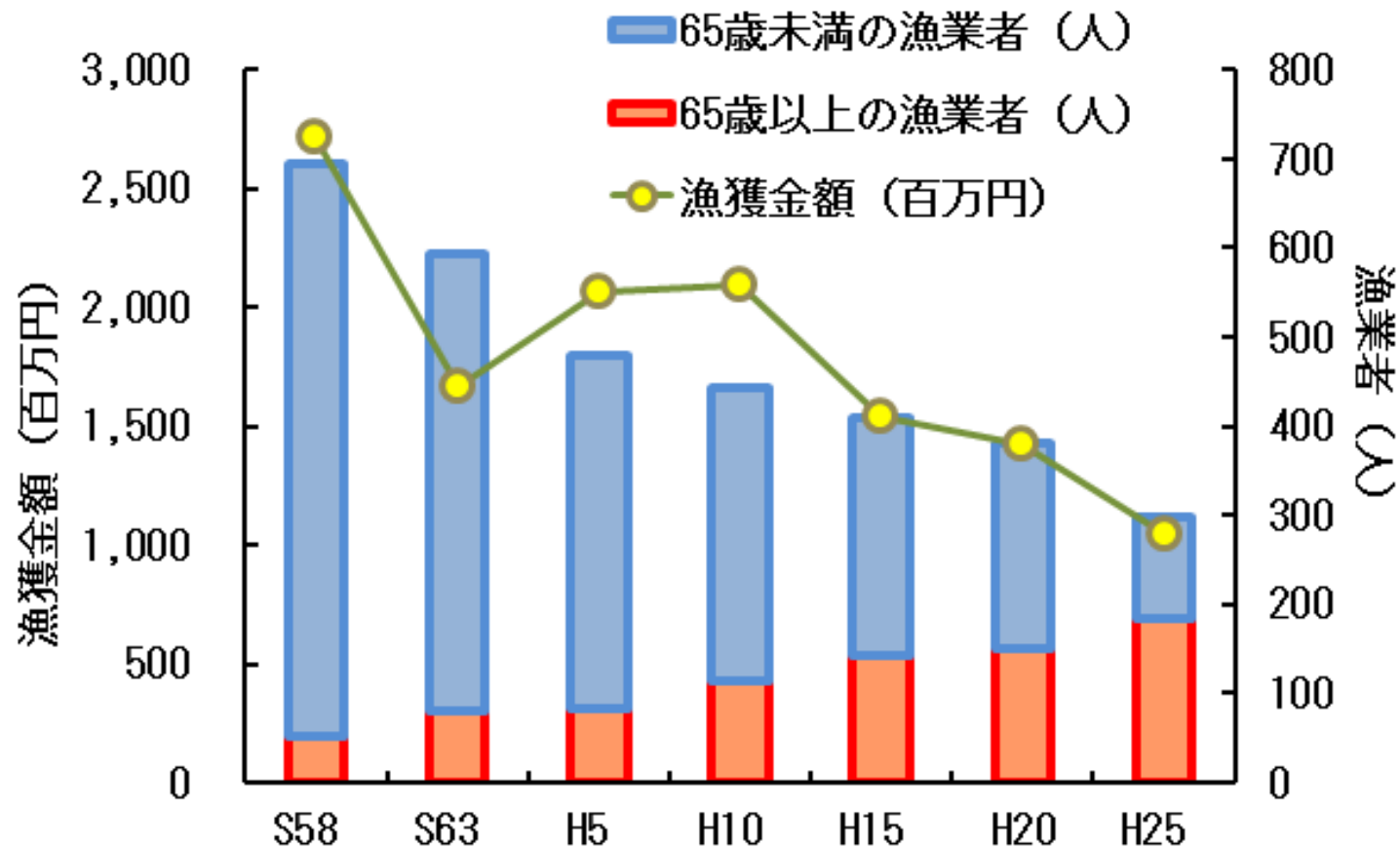


水揚数量 646トン



水揚金額 5億5千万円

## 2. 地域の現状・課題



消費者の魚離れ・燃油価格の高騰  
漁業者の高齢化・漁業後継者不足

# 小泊沿岸は古来より船舶の寄港地であり難所だった

	船舶事故				人身事故		災害※
	漁船	プレジャーボート	大型船 (貨物・旅客)	その他・ 船種不明	レジャー	その他	
江戸 (1664～1868年)	2			48		1	2
明治 (1868～1912年)	3			6			
大正 (1912～1926年)	2			10			
昭和 (1926～1989年)	19		1	69	6	5	4
平成 (1989～2013年)	20	1	1	10	14	8	
計	46	1	2	143	20	14	6

※災害寛保渡島大島の津波(1741年)、寛政後志の津波(1792年)、小泊川洪水(1938年)、洞爺丸台風(1954年)、宮古島台風(1959年)、日本海中部地震(1983年)

# 小泊救難所は 設立115年！



- 明治36年 「大日本帝国水難救済会小泊救難組合」を設立
- 昭和24年 小泊漁業協同組合の下部組織に小泊救難組合が組み込まれ、「日本水難救済会青森支所小泊救難所」となる
- 平成25年 「中泊町沿岸訓練実施隊」を組織  
(水産多面的機能発揮対策)
- 平成30年 「小泊海の監視ネットワーク活動組織」を組織  
(水産多面的機能発揮対策)

### 3. 活動組織の概要（平成30年度）

#### 中泊町沿岸訓練実施隊（代表：成田直人）

磯廻り漁業者 6名

小泊漁協職員 9名

小泊救難所 53名

小泊漁協婦人部 54名

小泊漁協役員 3名

小泊・中里消防署 23名

地域住民・民間企業 5名

#### 小泊海の監視ネットワーク活動組織（代表：敦賀勝正）

小泊いか釣協議会・一本釣部会・鮪はえなわ部会・  
ウスメバル刺網部会・サメ刺網部会 他 86名

小泊漁協職員 11名



# 4. 活動の目標と計画（平成30年度）

## （1）海難救助訓練の目標

- ◆海難事故救助の技術継承  
（S61年～現在まで毎年1回）
- ◆海難事故救助訓練の体制維持・強化  
（炊き出し訓練等）
- ◆海難事故防止活動の実施



地域全体で

- 「海難事故ゼロ」を目指す
- 多くの人を救命するための海難事故救助

## (2) 海の監視ネットワーク活動の目標

- ◆ より多くの監視の目の配置
- ◆ 情報の可視化と一元管理
- ◆ 取締機関との連携強化

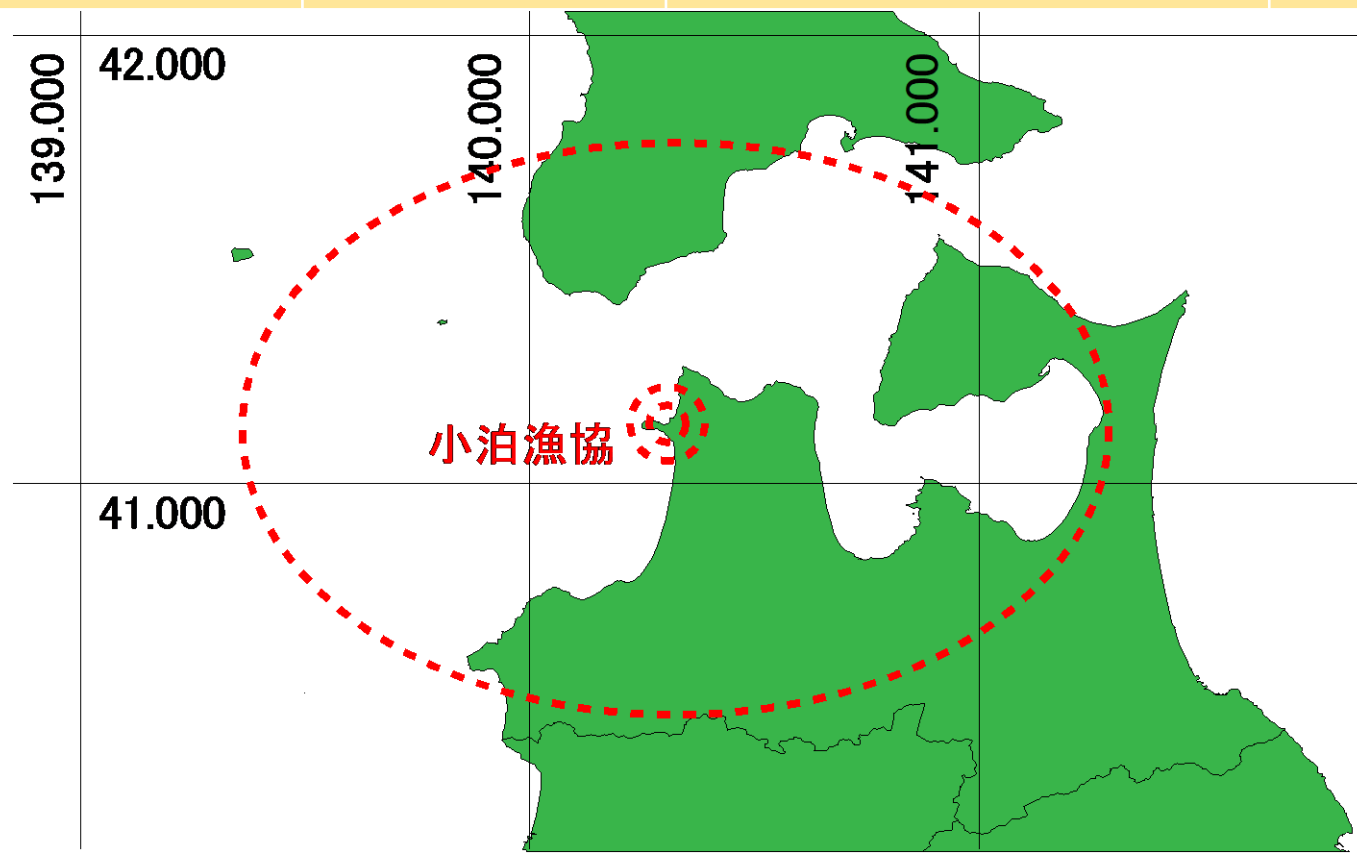


地域全体で

- 安全な操業海域の確保
- 漁村に暮らす人々への安心感の提供

### (3) 海難救助訓練・ 海の監視ネットワーク活動の計画

活動組織名	活動項目	内容	場所	数量
中泊町沿岸訓練実施隊	海難救助訓練	救助救出訓練及び炊出し訓練（6月中旬）	小泊漁港内	1回／年
小泊海の監視ネットワーク活動組織	海の監視ネットワーク強化	操業活動に付加して行う監視・情報収集活動（通年）	図のとおり	6,230回／年



# 5. 発揮活動の実施状況（平成30年度）

## （1）海難救助訓練



①現地対策本部の設置



②漂流者の救出訓練



③消火・曳航訓練



④救命索発射訓練



⑤ 応急手当訓練



⑥ 救急搬送



⑦ 救命胴衣装着訓練



⑧ 炊出し訓練

## (2) 海の監視ネットワーク活動



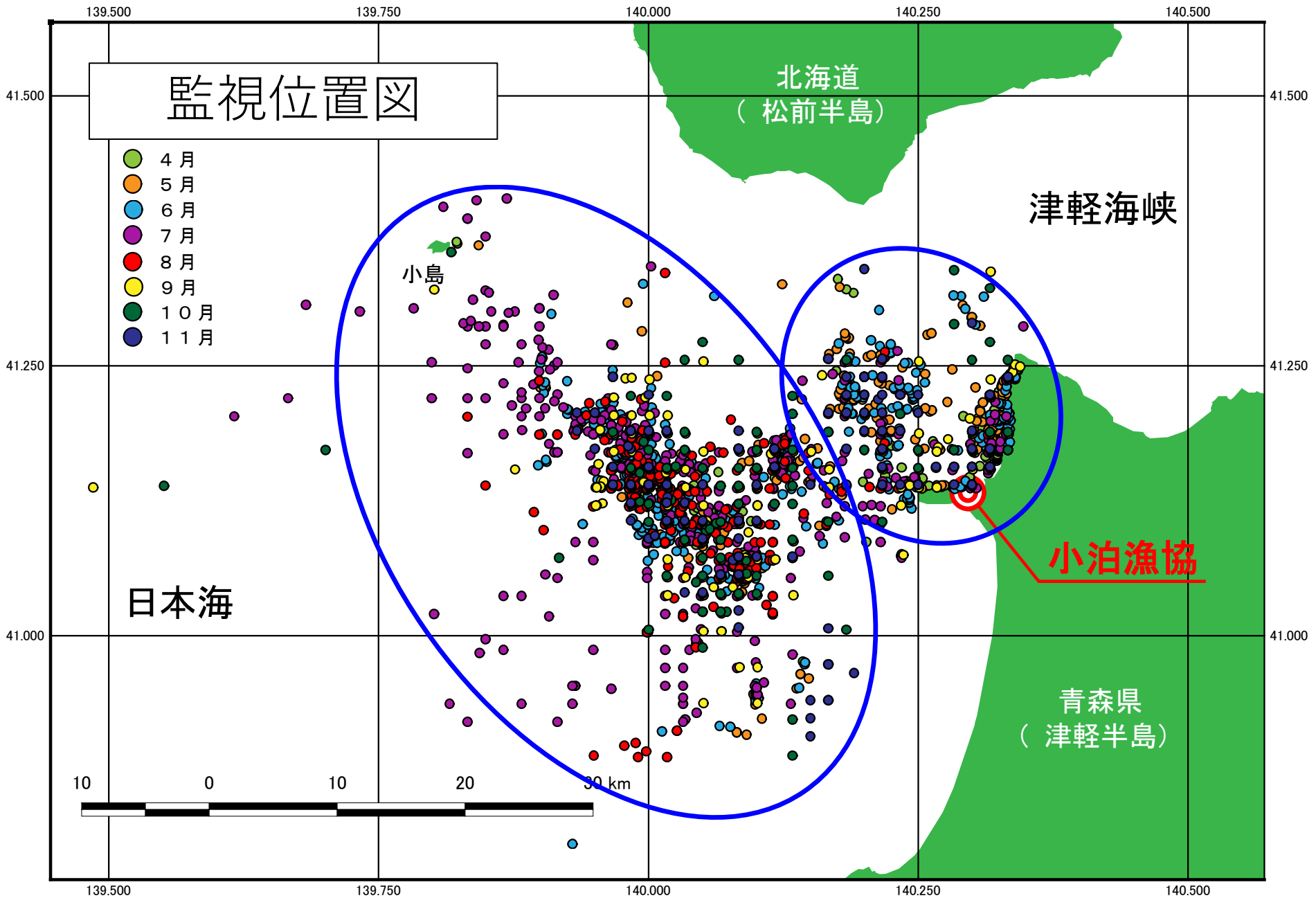
航行中の監視



沿岸域の監視

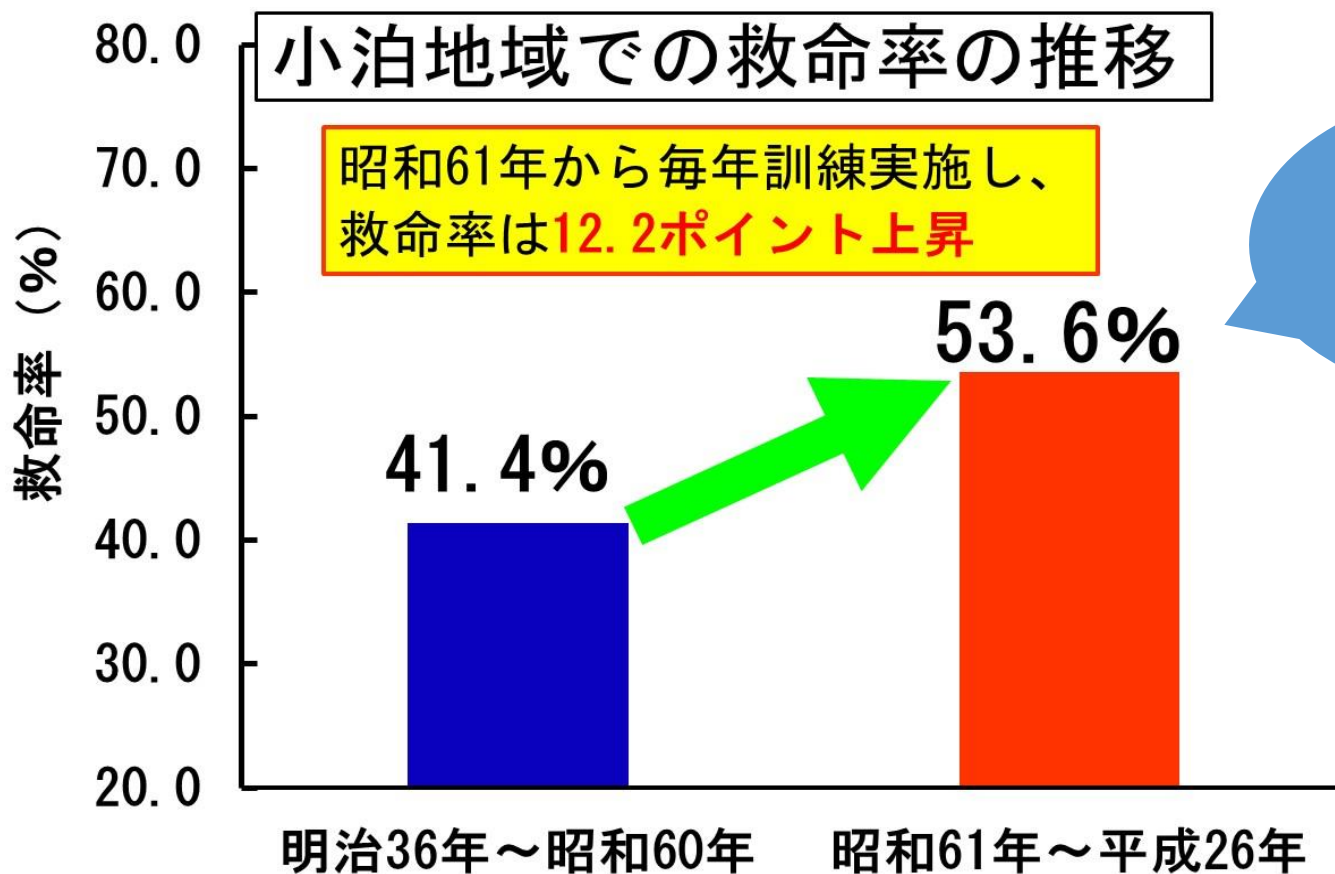
### ● 漁業種類別の監視回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
定置網	13	8							21
棒受網	99	9							108
一本釣り	93	290	253	351	97	160	183	154	1,581
刺網	36	44	251	194	116	55	49	46	791
延縄	3				42	66	47	16	174
えびカゴ		4	10	16	10	11			51
いか釣り		8	39	135	16	2	28	1	229
採介藻		10		12					22
その他		4							4
計	244	377	553	708	281	294	307	217	2,981



# 6. 活動の成果と今後の課題

## (1) 海難救助訓練の成果

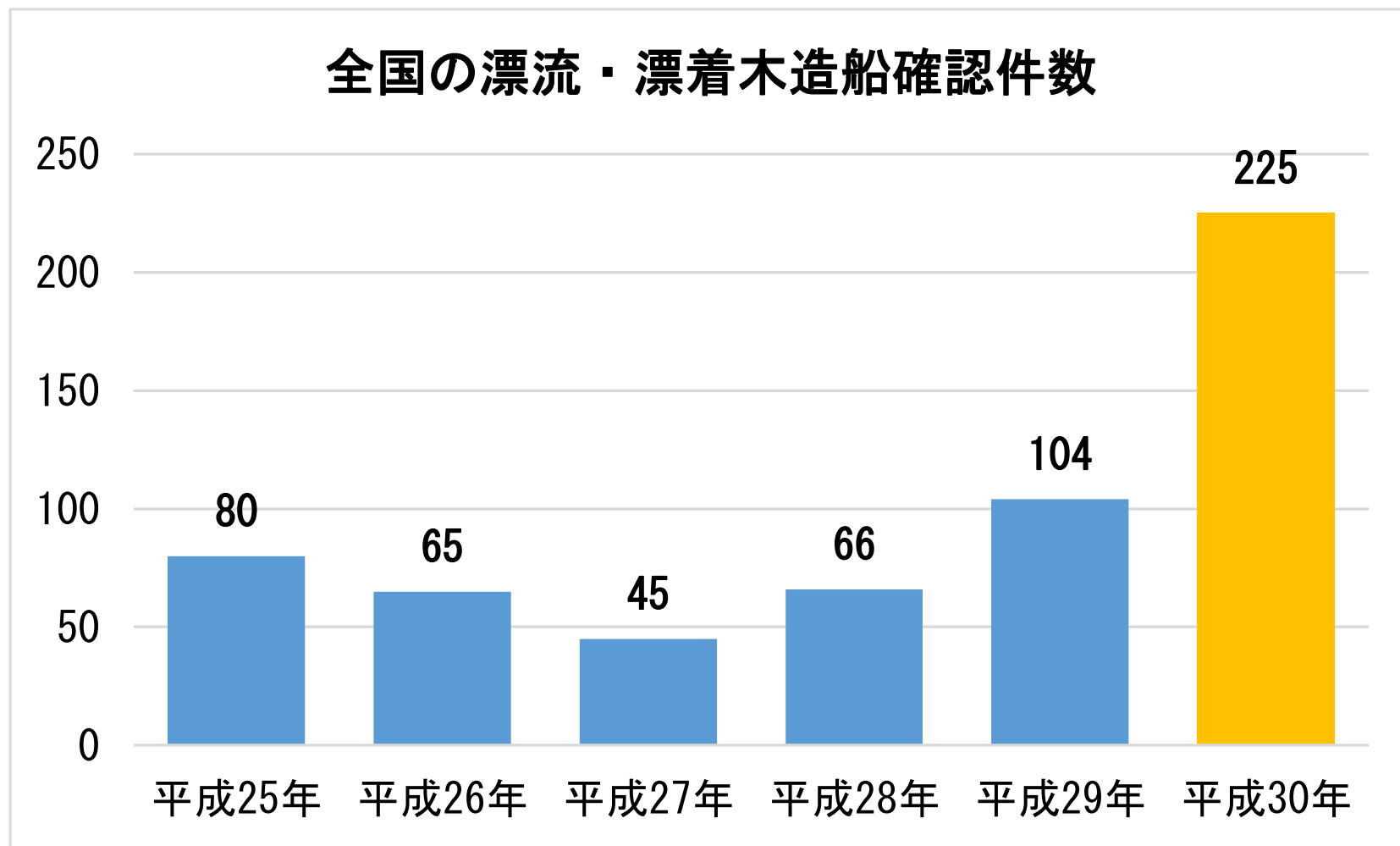


救命率が  
向上!

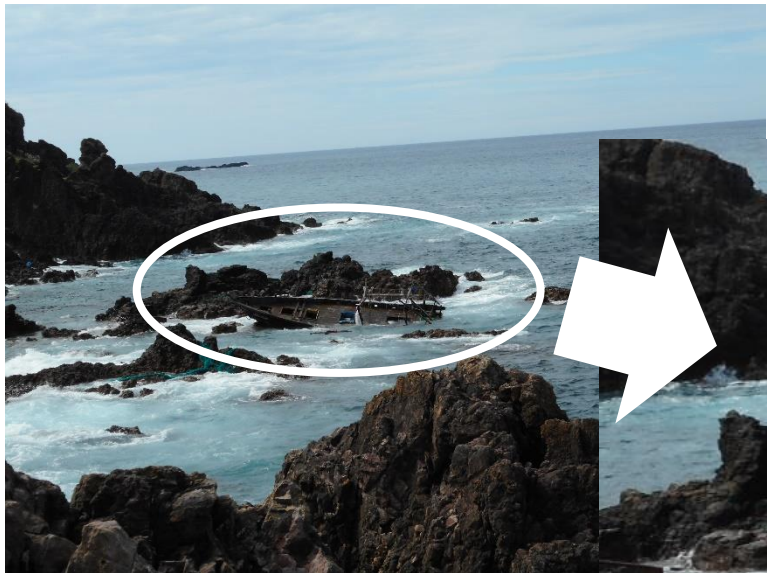
※救命率とは、これまでの救助活動件数のうち、  
全員を無事救出した件数の割合



## (2) 海の監視ネットワーク活動の成果



出典：平成25～29年の確認件数；第196回 国会（常会）答弁書第二号  
（平成三十年一月三十日）  
平成30年の確認件数；海上保安庁への聞き取り



平成30年9月4日（漂着状況）



平成30年9月5日（検分）

構成員による漂着船  
の発見と通報

### (3) その他の成果

#### ◆地域全体へ海難事故防止の意識を浸透



#### ◆消防署等との連携による応急手当技術の習得



医療機関が少ない小泊地域の住民へ安心感



ご清聴ありがとうございました